

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	通信会社（社員）	販売量の動き	・携帯電話の新規加入台数が増加した。
	やや良くなっている	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・靴やバッグを含めてファッション全般ではジーパンのカジュアルスタイルにフィットした商品の動きが目につく。食品では旬をとらえた商材の動きが良い。家庭用品、身の回り品では例えば高額な箸にこだわり、生活のスタイルをちょっと変えてみたいという購買行動がみられ、全体的にはやや上向いてきている。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・旅行用に婦人服をまとめ買いする客が増えている。
		スーパー（営業担当）	単価の動き	・来客数は変わらないが、100円、198円、298円などの値ごろ感のある商品をアピールすることよりの買上点数が増加し、客単価が上がっている。消費税の総額表示も1年が経過し、客も慣れてきた。
		乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・車の需要期のピークは過ぎたが、新型車が存在しないにもかかわらず、3か月前及び1年前との比較で販売台数はかなり増加している。
		その他専門店〔医薬品〕（営業担当）	来客数の動き	・来客数は既存店ベースで前年同月比2%増、売上は同4.7%増となっており、来客数の伸びが売上を引っ張っている。
		一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・従来と違って、広告等の販売促進を実施すると、来客数は2けたの伸びとなる。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・レストランの通常営業は前年を下回っているが、宿泊、一般宴会や、レストランを含む婚礼の売上は前年を上回っている。3か月前と比べても全体で上回っている。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・レストラン、宴会など一部バラツキはあるが、全体として販売量が増加している。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・客の年齢層が年々若くなっているため、以前に比べ販売金額は減少したが、販売件数は増加した。
変わらない	一般小売店〔鮮魚〕（従業員）	販売量の動き	・温泉地や大型娯楽施設の取引先では、愛知万博の影響で予約や売上が軒並み落ちている。	
	一般小売店〔事務用品〕（営業担当）	販売量の動き	・3月の年度末需要が終わり、文房具などの消耗品の動きが止まっているが、新入社員向けの机や椅子などの備品は若干売れている。	
	スーパー（店長）	単価の動き	・ここに来て客単価が若干下げ止まりしている。これは牛肉の値上げ、果物相場の上昇によるもので、決して客の購買意欲が上がったわけではない。逆に1人当たり買上点数が減少していることから、全体としては変わらない。	
	スーパー（副店長）	単価の動き	・年2回の会員特別招待会の実施により、来客数は前年を上回ったが、客単価は依然前年割れとなっている。	
	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・4月の前半は前年よりも天候が悪く、気温も低かったが、来客数、客単価共に前年を上回った。	
	コンビニ（経営者）	単価の動き	・来客数は増加しているが、単価が伸び悩んでいる。	
	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・月の初めは良くなかったが、中盤から後半にかけて良くなった。しかし、気候が寒くなると、とたんに販売量が落ちる。	
	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・4月にやっと暖くなり、3月に止まっていた春物もようやく動き出した。	
	家電量販店（経営者）	販売量の動き	・引き続きテレビ、DVDが好調、パソコン及び関連品は低調である。エアコンの出足がいまひとつ良くないが、洗濯機が売上、単価共に前年をかなり上回り、乾燥機能付き洗濯機が定着してきた。4月29日と30日の連休スタートは販促効果もあり、まずまずの売上となった。	
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・全体としては前年並みの実績であるが、売れ筋は極端に偏る傾向にある。例えばお買い得な限定車が出るとそれだけに引き合いが集中し、他は全く売れず、需要の底上げができない。	

	乗用車販売店 (経理担当)	販売量の動き	・小型車や新型RV車があるにもかかわらず、最大需要月の3月の販売台数は前年比で減少したが、4月の受注・登録数は若干ながら前年より増加した。	
	自動車備品販売店 (従業員)	来客数の動き	・必要な商品であれば、価格よりもアフターサービスやメンテナンスを重視する客が多い。	
	高級レストラン (スタッフ)	販売量の動き	・4月は桜の開花が例年より遅かったことから客の出足は悪かったが、開花後は天候もよく、花見客や歓迎会など例年並みの受注ができた。	
	タクシー運転手	来客数の動き	・歓送迎会や夜の花見会は集中的に行われたが、タクシーの利用は少なかった。	
	パチンコ店(店員)	来客数の動き	・客は長期連休の前に出費を抑えているためか、来客数が前月に比べて1割程度落ち込んでいる。	
	住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・以前の客はどちらかと言えば付和雷同型が多かったが、今は一定期間を定めて計画的に住宅取得を考えている人が増えている。契約までの期間は延びるが、その分手ごたえを感じながら交渉ができるため、確実性がある。	
	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・受注量が前年に比べて減少した。各社が低価格商品を宣伝しているため、客はすぐに決めることができず、様子見の状態が続いている。	
やや悪くなっている	百貨店(営業担当)	来客数の動き	・今月の買上客数は前年比95%で推移しており、プレシーズン商品の水着の買上数についても前年の7割となっている。	
	百貨店(営業担当)	販売量の動き	・春物コートの需要が昨年より少なく、また期間も短く、すぐにジャケットの需要に切り替わったため、客単価が低下している。また、取引先が徐々に製造量を減らしているため、ジャケットの需要に対して欠品が重なり、売り逃しがかなり起きている状態である。全体的に売上が減少している。	
	スナック(経営者)	来客数の動き	・好天の花見シーズンで人出が多かったが、来客数は少なく、下旬には市議会議員選挙が行われたため、好調であった前年同月の7割程度に落ち込んだ。来客のない日が3、4日あったが、これは20数年前に営業を開始して以来、初めてのことである。	
	観光型旅館(スタッフ)	来客数の動き	・4月は宿泊人数が大幅に前年を下回っている。また、先月から宿泊単価が低下傾向にある。	
	旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・中国のデモの影響により、中国旅行の見合わせがかなり発生している。	
	タクシー運転手	来客数の動き	・花見や夜桜見物の客は天候に恵まれて、例年になく人出が多く、また歓迎会の開催も多かった。しかし、ほとんどの人はマイカー、代行運転や最終のバスで帰り、人出の多かった割にはタクシーの利用が少なかった。	
	テーマパーク (職員)	来客数の動き	・愛知万博の影響で周辺の旅館・ホテルの宿泊客が少なくなっている。この影響を受けて当会場への来場者数もあまり良くない。	
悪くなっている	テーマパーク (職員)	来客数の動き	・4月に入り愛知万博による逆風が本格化し、来場者数は前年同月比で2割の減少となった。	
企業 動向 関連	良好 なっている	-	-	
	やや良くなっている	食料品製造業 (企画担当)	受注価格や販売価格の動き	・新商品の価格帯が上向いているなかで、販売量も堅調に推移している。安さだけでは購買に結び付かず、逆に高くても価値のあるものに対して購買意欲が顕在化している。
		化学工業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・新規受注商品の販路が拡大した。
		金融業(融資担当)	取引先の様子	・製造業では受注残がかなり多く、休日の稼働日数も前年より多くなっている。
変わらない		司法書士	取引先の様子	・4月は特に不動産取引の依頼が多かった。
		繊維工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・引き続き婦人服関係は全般に悪く、スポーツ関係も代わり映えしない。
		プラスチック製品製造業(企画担当)	受注量や販売量の動き	・昨年末からの製品価格の値上げ問題が順調に進まず、販売量も思うように伸びていない。
	電気機械器具製造業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・4月になっても受注が回復する兆しがない。	

	やや悪くなっている	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・発注先が在庫水準に敏感で発注を抑えているため、ますます期近の商売となっている。先行き不透明感がさらに強まっている。
		建設業（経営者）	競争相手の様子	・ピーク時に比べて、売上高が4分の1近くまで減った業者が見受けられる。また、昨年は希望退職を募っていた業者が、今年は指名解雇を行っているなど、全般的に一段のリストラが行われている。
	悪くなっている	建設業（総務担当）	それ以外	・建築資材、特に鋼材価格の上昇が続いており、コストアップ分を受注価格にフルスライドすることが困難な局面が出ている。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・3か月前に比べ、広告件数は約15%増加している。季節的要因と考えられるアルバイト・パート募集の増加に加え、若干ではあるが正社員募集も増加している。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・全体的に求人依頼は堅調に推移している。登録者数に大きな変化はないが、CAD、経理関係の有資格者など、スキルの高いスタッフの募集が困難な状況である。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・4月の求人広告は前年比約5%減少している。
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・就職件数が前年同期比で7.4%減と伸び悩んでいる。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・学生の就職活動が前年度と同様に早くなっている。
	やや悪くなっている	-	-	-
悪くなっている	-	-	-	